

総合開発計画策定特別委員会

平成16年4月30日に開催された第1回議会臨時会において設置された総合開発計画策定委員会は、市の総合開発計画策定に関する事項について調査研究を行うためのもので、3年を経過しようとしております。

調査研究経過及び事項

平成18年6月23日

当委員会は、平成17年度に御前崎市総合計画策定に向け、度重なる審議の結果をまとめ、当委員会の提言として市長に提出いたしました。

本年度は、この提言したものが如何に総合計画及び総合計画実施計画書に反映されているか、担当部課長からの資料に基づく詳細説明を求めて検証をしております。その結果、妥当に反映されていることを確認しております。

平成18年11月2日

また、平行して浜岡荘跡地利用の件につきましても審議を重ねてまいりました。

平成19年度をもつて、三法交付金事業は終了となります。

今後においては、限られた財源の中で、真に住民のための政策執行がされるよう、当委員会としても引き

続き総合計画実施計画書の実施状況について調査研究を重ね提言をしてまいります。

- (1) 総合計画の実施計画について
- (2) 電源三法交付金事業について
- 平成18年9月25日
- (1) 提言事項に対する総合計画の反映について
- (2) 浜岡荘跡地問題
- 平成18年11月2日
- (1) 道路計画
- (2) 港湾の利用促進
- 平成18年11月20日
- (1) 都市計画（下水道）
- (2) 産業の振興（工業、観光、農業、漁業、商業）
- 平成18年12月18日
- (1) 教育全般
- (2) 健康・福祉
- (3) 環境
- (4) 安全
- 平成19年3月14日
- (1) 電源三法交付金事業について

原子力対策特別委員会

原子力対策特別委員会は「浜岡原子力発電所の高経年化の調査・研究」、「核燃料サイクルの調査・研究」、「使用済み核燃料税の調査・研究」を基本的な柱として設置されています。

平成18年度においては現場調査を含め10回の会議を行ってまいりました。

昨年6月15日に5号機の原子炉が自動停止し、タービンの羽根損傷によることが判明いたしました。5号機は最新の技術を結集したもので、国内の原子力発電所の中で最大の発電出力を誇り、しかも平成17年1月に営業運転に入ったばかりであり残念の極みであります。

安全と安心について、著しく信頼が損なわれました。このトラブルについては本委員会といたしましては、事業者である中部電力株式会社と国の原子力・安全保安院に對して、その原因と対策について説明を求めると共に、メーカーである日立製作所視察等の調査を行いました。市民の安全と安心を最

優先に、今後も注意深く監視していきたいと考えております。

プルサーマル計画については、昨年3月3日に中部電力から「原子炉設置変更許可申請書」が国に提出され審査が行われております。本年1月には経済産業省（原子力・安全保安院）による一次審査がクリアされ、現在、国の原子力安全委員会と原子力委員会で二次審査が行われているとの説明を受けました。

国は、環境問題と併せてエネルギー政策に対する国民の理解が得られるよう、その役割を果たすと共に、厳正な審査を実施していただきたいと思っております。当委員会としては、市民の意向や地域振興への寄与等について、安全・安心を最重点に調査・研究をしてまいります。

原子力を取り巻く様々な問題について今後も調査・研究し、委員会として実りある報告ができますよう、引き続き努力してまいります。